



インスピレーションになるう

# 浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.958 2019.05.15 (水)

2018~19年度 RI会長 バリー ラシン

RI2620 地区 ガバナー 星野 喜忠 (大月RC)

Hamamatsu  
Harmony RC  
Weekly  
Bulletin

## 会長挨拶

静岡文化芸大 デザイン科に在籍する程 宏謨(てい こうも)さんにちなんで、芸術に関する付け焼刃のお話をします。

パリのルーブル美術館には、多くのルネサンス期の絵画が展示されていますがレオナルド・ダ・ヴィンチの“モナ・リザ”は、あまりにも有名です。イタリア語でリザ夫人ということですが、「モデルは誰?」とは、皆思うところで、フランシスコ・ジョコンダ夫人という説が有力であるとのこと。中には、レオナルド・ダ・ヴィンチ本人ではないか(自画像とモナ・リザの絵を重ね合わせると、ぴったりはまるんだそうです)、そうなると、実はダ・ヴィンチは、女性だったのではないかという、おもしろい説もあるようです。

ダ・ヴィンチは、絵画に初めて科学を取り入れたこと(絵画科学)で、山の稜線に、空気遠近法という方法を取り入れて、遠くの景色ほど青っぽくなるような絵を描いています。また、くだんの“モナ・リザ”の頬笑みをよく観察すると、口元の右側は、ほほえみをたたえ、左側は引き締まっています。解剖学をも極めていたので筋肉の動きを熟知していたためといわれています。

その“モナ・リザ”を超えるといわれる作品、レオナルド・ダ・ヴィンチの最高傑作が、“聖アンナと聖母子”という絵だそうです。その原画「岩窟の聖母」は、キリストとその母マリアとそのマリアの母アンナが描かれているんですが、光の輪や、十字架を排除して、キリストと母・祖母を人間として描いたため、当時、教会は受け取りを拒否したといえます。

宗教的な約束事を無視して、アンナの膝の上にマリア、そしてマリアの腕の中にキリストという不自然な構図で描かれています。時代や人種や宗教を超えた人間そのものを描いたと称される作品ですが、祖母・母・子の愛を象徴しているともいえます。これはその後、描き直されて教会におさめられますが、その原画は、ダ・ヴィンチの弟子がミラノへ持ち帰ったようです。今から500年もっと前の時代であっても、権威と人間それ自体との葛藤があったことは興味深いことです。

フランス、パリのルーブル美術館には、レオナルド・ダ・ヴィンチの油彩画が5枚展示されていますが、今では、海外持ち出し禁止となっているため、自分の目で見るには、行く以外には方法はなさそうです。本日の例会も実りあるものにしたいと存じます。

## 幹事報告

配布物;ロータリーの友5月号、ガバナー月信5月号、  
回覧:5月29日映画例会出欠表、次週例会のご案内

## 出席報告

出席率 37名中25名 (67.57%)  
修正出席率 81.08%

## 竹内恵子



## プログラム

## 「地区大会準備例会」



↑ 地区大会  
実行委員長  
加茂福史会員



↑ 地区大会  
実行副委員長  
小桐正彦会員

↑ 次期地区幹事 中村皇積会員



← 米山奨学生  
程 宏謨さん  
スピーチ

## スマイル

安間みち子(本日は所要のため、地区企画担当例会に参加できず申し訳ありません。地区大会に向けて、皆様のご協力をお願い申し上げます)山口勝義(6月30日フォレストで開催のハーモニーゴルフコンペへの多数のご参加よろしくお祈りします)西川公一郎(子供の発達科学研究所が主催するセミナーのご案内を配布しました。消費税率の引き上げに伴う幼児や保育の無償化により、教育の内容が幼稚園などを選ぶ基準となります。アメリカからアクティブラーニングで有名な講師をお招きしますので、皆様是非ご参加ください)

4月20日(土) →  
天竜浜名湖親睦列車内



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax:053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp